



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8親和ビル4階 〒540-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130
 ホームページ <http://nalc.jp> **毎月1回 10日発行**
 Eメール編集室...kaiho@nalc.jp

進む拠点のブロック制

顔の見えるナルクへモデルチェンジ

最近、ブロック制を採用する拠点が増えている。これは「1つの組織で広い拠点内の全てのエリアをカバーすることはできない」という物理的な問題もあるが、なんとと言っても会員ひとり一人の顔の見える組織にモデルチェンジしようというニーズが高まったためである。

地方の拠点では北の地区から南の地区への移動が、丸1日ばかりというのも珍しくない。イベントをするにしても大変だ。都会の拠点でも、例えば大阪においても、南北に拠点を分離して以後は大阪城清掃活動一つにしても、今まで参加が少なかった南地区の参加者が大幅に増えたという実績もある。それぞれの地区が切磋琢磨し、地区の主体性を高めていこうとした結果である。ブロック制に力を入れる「釧路」「枚方」「びわこ湖西」の各拠点をとり上げ、問題点を探ってみた。

ブロック活動は利用しやすい環境を作る
釧路拠点
 代表 今井俊則

ナルク釧路拠点を設立して早8年になるが、活動はマンネリ化して会員の減少が続いていた。会員の減少原因は、「会員の死亡と故人配偶者の退会」「大都市への転居」「趣味が忙しくなった」「人間関係に問題が起きた」などだ。

平成21年の春から「ナルク活動を活発にするためにどうしたらよいか」と運営委員会検討され、「ブロック制」の導入案が出された。しかし、当時は時期尚早と判断して導入を断念し、当時の連絡網にブロック名をつけ分割し、引き続き話し合いを行った。

1年後、「ナルク活動は時間預託の活用が原点であり、利用があるから提供がある。ブロック活動に「リーダー」と「サブリーダー」を置き、リーダーはサブリーダーと連携を密にする。二、リーダーはブロック会員からの「利用」の受付を行い、毎月1回ブロック会議を開催すること。三、ブロック会議では、毎月各ブロックに割り当てられている介護施設の時間預託ボランティアの参加者の指名を行うこと。四、週ごとに各ブロックに割り当てられている事務所当番者の指名を行うこと。五、月1回行う茶話会の当番と参加者のとりまとめ、年1回行う花見・泊研修、忘年会、新年会等の参加者の取りまとめを行うこと。

特筆すべきことは事務所当番者や、茶話会など年間行事の参加者が増加したことだ。ブロック活動を通じて顔の見える会員となつて絆が深まり、いつでも「利用」を申し込める安心感があると思われる。活発なブロック活動が、「利用」しやすい環境作りになると信じている。

天の川クラブのブロック制について
 枚方拠点 山田徹
 副代表 山田徹

天の川クラブは、2004年に、ブロック制の導入を断念した。当時の会員数は60名で、各地区には世話人代表1名と若干名の世話人をおいて運営していった。そして「各地区は年に2回の地区会を開催すること」を呼びかけてきました。3、4の地区が集まって「合同地区会」を開くのが精一杯の状況でした。これではいけないと言つたことで、2006年には地区会運営細則を定めて、世話人の他に、各地区に連絡員を設けた。運営委員を各地に必ず1名以上配置するよう環境を整えました。

2008年には、交野地区が「交野拠点」として分離独立し、現在は10地区で運営されています。会員数は2012年11月現在、847名ですが、会員の増加に伴い、ますます顔の見える活動が求められるようになり、2014年に、ブロック制の導入を断念した。当時の会員数は60名で、各地区には世話人代表1名と若干名の世話人をおいて運営していった。そして「各地区は年に2回の地区会を開催すること」を呼びかけてきました。3、4の地区が集まって「合同地区会」を開くのが精一杯の状況でした。これではいけないと言つたことで、2006年には地区会運営細則を定めて、世話人の他に、各地区に連絡員を設けた。運営委員を各地に必ず1名以上配置するよう環境を整えました。

「青春と」は心の若さなり。信念と希望に溢れ、勇気に満ちて、日に新たに活動する限り、青春は永遠にその人のものである。松下幸之助70歳頃の作。サムエル・ウルマンの「青春の詩」を読み感動してこれを短文に作り直し、知り合いの人たちに勧め、自らも実践した。このためか生来病弱だった氏は94歳まで生き抜いた。ナルクは「ボランティアをやらせてもらって生き甲斐と健康と出会いを得る」を理念にしている。いかに歳を重ねても、人生の目標を掲げてこれに挑み、生涯現役を目指すのがナルクに集う者の心意気である。私は昭和4年生まれ。当たり年の巳年を迎えて、改めてこれらの青春の詩の意味を考えてみた。あのキンさん・ギンさんも「後何年生きる」かではなく、「もつと長生きしてこんな事をしたい」と常に目を輝かせて、家の周りを歩き健康づくりをしていたという。なのに、「老人になったので来年から年賀状を遠慮します」の類が多くなつたのは残念。(高畑 敬一)



ブロック制や分離独立で奉仕活動も活性化

天の川クラブで、2004年に、ブロック制の導入を断念した。当時の会員数は60名で、各地区には世話人代表1名と若干名の世話人をおいて運営していった。そして「各地区は年に2回の地区会を開催すること」を呼びかけてきました。3、4の地区が集まって「合同地区会」を開くのが精一杯の状況でした。これではいけないと言つたことで、2006年には地区会運営細則を定めて、世話人の他に、各地区に連絡員を設けた。運営委員を各地に必ず1名以上配置するよう環境を整えました。

「青春と」は心の若さなり。信念と希望に溢れ、勇気に満ちて、日に新たに活動する限り、青春は永遠にその人のものである。松下幸之助70歳頃の作。サムエル・ウルマンの「青春の詩」を読み感動してこれを短文に作り直し、知り合いの人たちに勧め、自らも実践した。このためか生来病弱だった氏は94歳まで生き抜いた。ナルクは「ボランティアをやらせてもらって生き甲斐と健康と出会いを得る」を理念にしている。いかに歳を重ねても、人生の目標を掲げてこれに挑み、生涯現役を目指すのがナルクに集う者の心意気である。私は昭和4年生まれ。当たり年の巳年を迎えて、改めてこれらの青春の詩の意味を考えてみた。あのキンさん・ギンさんも「後何年生きる」かではなく、「もつと長生きしてこんな事をしたい」と常に目を輝かせて、家の周りを歩き健康づくりをしていたという。なのに、「老人になったので来年から年賀状を遠慮します」の類が多くなつたのは残念。(高畑 敬一)

季の輝き



寒風について

写真・隈井九州男

1年後、「ナルク活動は時間預託の活用が原点であり、利用があるから提供がある。ブロック活動に「リーダー」と「サブリーダー」を置き、リーダーはサブリーダーと連携を密にする。二、リーダーはブロック会員からの「利用」の受付を行い、毎月1回ブロック会議を開催すること。三、ブロック会議では、毎月各ブロックに割り当てられている介護施設の時間預託ボランティアの参加者の指名を行うこと。四、週ごとに各ブロックに割り当てられている事務所当番者の指名を行うこと。五、月1回行う茶話会の当番と参加者のとりまとめ、年1回行う花見・泊研修、忘年会、新年会等の参加者の取りまとめを行うこと。

特筆すべきことは事務所当番者や、茶話会など年間行事の参加者が増加したことだ。ブロック活動を通じて顔の見える会員となつて絆が深まり、いつでも「利用」を申し込める安心感があると思われる。活発なブロック活動が、「利用」しやすい環境作りになると信じている。

天の川クラブのブロック制について
 枚方拠点 山田徹
 副代表 山田徹

天の川クラブは、2004年に、ブロック制の導入を断念した。当時の会員数は60名で、各地区には世話人代表1名と若干名の世話人をおいて運営していった。そして「各地区は年に2回の地区会を開催すること」を呼びかけてきました。3、4の地区が集まって「合同地区会」を開くのが精一杯の状況でした。これではいけないと言つたことで、2006年には地区会運営細則を定めて、世話人の他に、各地区に連絡員を設けた。運営委員を各地に必ず1名以上配置するよう環境を整えました。

2008年には、交野地区が「交野拠点」として分離独立し、現在は10地区で運営されています。会員数は2012年11月現在、847名ですが、会員の増加に伴い、ますます顔の見える活動が求められるようになり、2014年に、ブロック制の導入を断念した。当時の会員数は60名で、各地区には世話人代表1名と若干名の世話人をおいて運営していった。そして「各地区は年に2回の地区会を開催すること」を呼びかけてきました。3、4の地区が集まって「合同地区会」を開くのが精一杯の状況でした。これではいけないと言つたことで、2006年には地区会運営細則を定めて、世話人の他に、各地区に連絡員を設けた。運営委員を各地に必ず1名以上配置するよう環境を整えました。

「青春と」は心の若さなり。信念と希望に溢れ、勇気に満ちて、日に新たに活動する限り、青春は永遠にその人のものである。松下幸之助70歳頃の作。サムエル・ウルマンの「青春の詩」を読み感動してこれを短文に作り直し、知り合いの人たちに勧め、自らも実践した。このためか生来病弱だった氏は94歳まで生き抜いた。ナルクは「ボランティアをやらせてもらって生き甲斐と健康と出会いを得る」を理念にしている。いかに歳を重ねても、人生の目標を掲げてこれに挑み、生涯現役を目指すのがナルクに集う者の心意気である。私は昭和4年生まれ。当たり年の巳年を迎えて、改めてこれらの青春の詩の意味を考えてみた。あのキンさん・ギンさんも「後何年生きる」かではなく、「もつと長生きしてこんな事をしたい」と常に目を輝かせて、家の周りを歩き健康づくりをしていたという。なのに、「老人になったので来年から年賀状を遠慮します」の類が多くなつたのは残念。(高畑 敬一)

地域支え合いナルクモデル市

地域包括支援センターとの交流会を開催

地域包括ケアシステムの構築推進の一助とするため、ナルクは関東で2カ所(市川、銚子)、関西で2カ所(高槻、東大阪)をモデル市に設定し、行政、社協などのパイプを通じて活動を進めているが、このほど関西地区の両市が地域包括支援センターとの交流会を開催したので、その概要をお伝えする。

「高槻市」 高槻市内には、12の地域包括支援センターが設置され、保健師などの専門職員が常駐し、高齢者への必要なサービスが切れ目なく提供されるよう目指している。

「東大阪市」 ナルク「高槻・島本拠点」も、各地域に地域包括支援センターがリンクできるようにブロック制を整備した。今後、地域ケアシステムが推進される中で、ナルクの活動が期待される。

交流会を開催した。まず高齢者地域支え合いセンターの福井主幹から、高齢者地域支え合い事業についての説明があり、続いてナルク田中代表が挨拶した。

「東大阪市」 東大阪市内には、12の地域包括支援センターが設置され、保健師などの専門職員が常駐し、高齢者への必要なサービスが切れ目なく提供されるよう目指している。



交流会風景。高槻市と東大阪市の地域包括支援センターとナルクのメンバーが参加し、意見交換を行った。

交流会を開催した。まず高齢者地域支え合いセンターの福井主幹から、高齢者地域支え合い事業についての説明があり、続いてナルク田中代表が挨拶した。

「東大阪市」 東大阪市内には、12の地域包括支援センターが設置され、保健師などの専門職員が常駐し、高齢者への必要なサービスが切れ目なく提供されるよう目指している。

ボランティアの喜びの記

ボランティアに参加して元気をもらいました

大分拠点 佐藤美智子

常にボランティアという言葉が意識の中にありました。私に何が出来るのか、私は何をしたいのか、分からないまま、日を送っていました。でも何かしたい、何かできるはず、気持ちが定まらないままナルクを知り、何かに引かれるように入会してしまいました。

ボランティアに参加して元気をもらいました。大分拠点 佐藤美智子。常にボランティアという言葉が意識の中にありました。私に何が出来るのか、私は何をしたいのか、分からないまま、日を送っていました。でも何かしたい、何かできるはず、気持ちが定まらないままナルクを知り、何かに引かれるように入会してしまいました。



ひまわり幼稚園の遊びの広場

交流会を開催した。まず高齢者地域支え合いセンターの福井主幹から、高齢者地域支え合い事業についての説明があり、続いてナルク田中代表が挨拶した。

「東大阪市」 東大阪市内には、12の地域包括支援センターが設置され、保健師などの専門職員が常駐し、高齢者への必要なサービスが切れ目なく提供されるよう目指している。

ナルク用語辞典

地域包括支援センター

2005年の「介護保険法の改正」に伴い制定された機関で、地域住民の保健・福祉・医療の向上・虐待防止・介護予防マネジメントを総合的に行う機関です。各市町村(大きな都市では中学校単位で)に設置されています。

センターには、保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士などが住民の相談に対応しています。(2012年4月改正)

センターで対応しているのは、次のような事項です。

- ①介護保険のサービスを受けたいが、どうしたらいいの?
- ②転倒防止のために、トイレや風呂場、玄関に手すりをつけたい
- ③ひとり暮らしや高齢夫婦なので、緊急時のための緊急通報装置をつけたい
- ④認知症の方の見守り隊、認知症サポーター養成講座や認知症に関する講座の開催
- ⑤要支援、要介護にならない予防のための体操教室や口腔ケアなどの健康サポート
- ⑥虐待の早期発見・対応
- ⑦住宅リフォームや高額商品の消費者被害への対応
- ⑧成年後見制度の案内と紹介
- ⑨要支援の方のケアプラン作成
- ⑩ケアマネへの相談援助など

つれづれの記

韓流の行方は?

韓流とは、「2000年代以降の韓国大衆文化の流行を指す」とあります。金大中大統領の時代、映画や音楽などの日本文化を受け入れると共に、国を挙げて、ドラマ・映画・音楽などの芸能産業振興を図ったことが韓流の始まりと言われています。



最近「多すぎる韓ドラマ」に批判が出たり、領土問題からんだ事件も相次いだため、「韓流芸能」関連のイベントの中止や、年末年始の番組を削減する民放もありました。輸入物は日本のテレビ局の番組制作費を安価で抑えられるそうですが、行き過ぎると良い結果は生まれません。

韓国料理が多く登場したので、料理にも関心が高まり、出演俳優が料理を紹介する番組も見られました。しかしその後はヒット作が続かず、民放でも多くの韓国ドラマが放映されています。

ビジネスとしての韓流は終焉を迎えたのでしょうか。「チャンギム」のファンとしては寂しい気がしますが、(かくや姫)

20周年記念総会は仙台で

詳細は実行委員会を立ち上げ検討

来々、ナルクは設立20周年を迎える。負担してでも、仙台で行うべきだ」という意見が続出した。本部では記念総会を「どこで行い」「どんな内容にするか」を論議してきたが、ナルクの柱であるボランティア活動のさなな高い位置づけと、東日本大震災復興の推進、被災者への支援を継続的に行うことの意味などため、「仙台で開催」を決定した。

その結果、前向きな感触が得られた。長を委員長とする実行委員会を立ち上げた上で、千人の参加で検討することとなった。

本部は当初、大阪が奈良で開催することを企画し、昨年の理事会に提案したところ、「旅費、宿泊費の半額を各拠点で、震災後3年にな



多くの会員が訪れたハラソル喫茶

て、多くの方が強いトラウマ(精神的外傷)からPTSD(外傷性ストレス障害)に悩まされること

は、阪神大震災の体験からみても、必ずしも、現在実施

る来年においても、仮設住宅で不便な生活を余儀なくされて

であると考えられる。ナルクとしては、さらに仮設の方々

の理解が得られれば、「双方助け合

い拠点にぜひ参加してください。4月か

ら11月までの各月2回、2泊3日の予定

で実施します(詳しい日程は拠点に連絡

文書を送りました)。人数は1回1名、

8名まで。日程は申し込み順とさせていただきます。

き取り、それを寄せてシンポジウムを開催する

て、そのまを政

府や自治体に要請すると共に、さわやか

福祉財団の堀田理事

長などが力を入れて

いる「地域包括ケア

システムの構築」のために、現在実施

ちょっと聞いて

コーディネーターのつぶやき



大阪拠点は設立当初から伝統的な対一の「会員相互の助け合い」を中心

に活動をしてきました。そんな中で、利用する会員、活動する

の会員共に、最近意識が変化して来て

いるように思います。若い時から活動

してきた会員は、預託点数を利用する

1時間利用した場合の500円の寄付金は、事務所を維持していくのに必

要なのですが、入会時に説明はするも

な、「ヘルパーさんに頼むと高くつ

くのでナルクに頼んだ」とおっしゃる

方もいます。その方が経済的に困り

方ならそれはそれで分かりますが、

せください。

ご意見ご感想を編集委員会までお寄

せください。

大阪南拠点 繪川佐都美

ご意見ご感想を編集委員会までお寄

せください。

ご意見ご感想を編集委員会までお寄

せください。

ご意見ご感想を編集委員会までお寄

4月以降の

パラソル喫茶

(1) 救援・支援カンパ 17,116,786円

(2) 残金 4,986,100円

(3) 見舞金 第1次9,750,000円

(H23年5月26日) 全壊3、半壊11

1部損壊65

第2次150,000円

(H23年10月31日) 1部損壊5追加

第3次291,240円

(H23年12月23日) 浪江町仮設住宅

(4) 義援金 百万円(日赤へ)

(H23年5月24日)

(5) パラソル喫茶経費 939,446円

平成23年8月24日

拠点の訪問に始まり、24拠点が23回

に亘り傾聴ボランティアなどを実施した。

子育て支援事業各地の報告④

【小規模研修会】

びわこ湖南 平成24年10月3日(42名)

子育てについて考えておくべきいくつかのこと

信愛幼稚園 宮田誉夫理事長兼園長

幼児の健康・病気で注意すべきことは

近江草津徳洲会病院 鈴木敦史部長

幼児の成長とおもちゃ・絵本について

キッズいわき・ぱぶ 岩城敏之代表

【大規模研修会】

土佐・安田 平成24年7月29日(36名)

基調講演「少子高齢社会の中、地域で出

来る子育て支援とは」

高知大学 社会福祉学部田中きよむ教授

「自然を生かしたモノ作り」坂本達治氏

「絵本の持つチカラ」

えほんの店コトコサン 森本智香代表

松山 平成24年8月26日(47名)

基調講演「子供を見つめて」

松山東雲短期大学菅田栄子教授

ワークシヨップ

子育てひろば「くふん」の活動

外遊びの必要性と効果・

4・5歳児に絵画を教える

徳島 平成24年11月15日(61名)

「お母ちゃんたちの子育て支援」

子育て支援ネットワーク松崎美穂子氏

事例発表

こどもねつといしい 仁木喜久美理事長

助任保育園 井上和美主任保育士

大阪北摂茨木地区

茨木・摂津 平成24年11月18日(116名)

基調講演 「みんなで子育て」

「子供の育つみちすじ」

大阪府立茨木高校 入交享子指導教諭

シンポジウム

ナルク「茨木・摂津拠点」池原洋志代表

こえんひろば 松井洋子代表

アンファン広場 田中康子代表

親まなび・きらりん広場 大浦晴子代表

た。

高血圧

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

「高血圧は薬を飲み続けなければならない!」

読者の広場

俳句

「びわこ高島」
新米を
背負いて孫の歩かな

幽玄に
浸る二胡の音秋一夜

郵便の
コトリと音す秋しじま

「広島」
安らげし
珈琲の香や冬の朝

再興終え
初詣待ちの仁王門

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「ひたち」
日立ふれあい乗馬
イベント開催

「亀岡」
勤め終え
帰るまぎわの時雨かな

古菊や
そもも頭を垂れんでも

夫の内に
亡母生きてある冬の虹

石路や
今日は全国晴れ予報

静女
陶芸教室に

脇役も
主役もこなし石路の花

石路の
花揃ひし茎や紫の降り

花揃ひし茎や紫の降り
丹羽静代

母の味にはまだ遠し
根深汁

たが、集まった約100
人の子供たちは元気な6

頭のポニーと触れ合い、
乗馬体験した。「ナルク

ひたち」のメンバー9人
は朝早くから柿の皮む

き、焼きそばなどの食事
づくりを手伝った。寒風

の中での作業であった
が、子供たちの楽しそう

な笑顔に連れ、みな満足
して帰途に着いた。大久

保幼稚園などと共同で今
後も子育て支援を実施し

ていく予定である。(楮
原廣美)

「寝屋川」
絵本「ひまわりのおか」
拠点事務所の入口に、

長谷川笑子
小落葉の
十六文にキックする

松本恵子
色あせは知らぬとばかり

山田三子
石路咲けり

「堺」
おぼろ月
餅つく兎雲がくれ

阪田和代
混迷の
日本に希望ノール賞

川口厚子
棚からの
ぼた餅いまだ縁なく

谷友江
のら犬はいないはずだが

ウチする
藁野すえ子

いつまでもおしゃやれで
いてと敬老の日

こんなお話です。
東日本大震災の時、石

巻市の大川小学校全児童
108人のうち、74人の

生徒と10人の先生が津波
に呑み込まれました。高

台へ避難しようとして、皆が
歩き始めた直後のことで

した。お母さんたちは毎日、
瓦礫を運び、土を掘り、

海の底を覗いて、子供た
ちを探しました。

そのうちにお母さんた
ちの間から「学校の裏の

丘にひまわりを植えよ
う」という声が出て、ひ

まわりを植えることにな
りました。

小路玉枝
余り物と差し上げながら
嬉しいことでした。

平山芳泉
介護保険が施行されて
13年、事業所も増え、サ

ービスも選べるようにな
りましたが、色々制約の

ある介護保険では埋めき
れない事柄や、ちよっと

した心遣いなどに手を貸
すことができるのは、ナル

クではないかと思えます。
母を見て思うのは、「一

人の人間を支えるのは決
して一人ではできないも

のかと思えていたとき
に、高畑会長の記事を読

み、ナルクの戸を叩きま
した。すぐに近くの拠点

の方が母の元へ足を運ん
でくださり、姉をサポー

トしてくださりました。
具体的な手助けも勿論

ですが、母と姉二人の息
苦しい空気に風を送って

い出を話し合いながら、
ひまわりを大事に育てま

した。真夏の空に、子供の笑
顔のような花がいつぱい

咲きました。お母さんたちは、そつ
と、ひまわりと約束しま

した。「もう泣かないか
らね」。約束できない約

束だけれど。絵本の中の子供たちは
みんな明るく輝いて、素

敵な笑顔です。どうぞご覧になつてみ
てください。(華房洋子)

「東神戸」佐々木真知子
ナルクに入会したきつ
かけは、母の遠距離介護

でした。北海道で母を見て
いる姉の手助けができない

「随想」
平山芳泉
介護保険が施行されて

13年、事業所も増え、サ
ービスも選べるようにな

りましたが、色々制約の
ある介護保険では埋めき

れない事柄や、ちよっと
した心遣いなどに手を貸

すことができるのは、ナル
クではないかと思えます。

母を見て思うのは、「一
人の人間を支えるのは決

して一人ではできないも
のかと思えていたとき

に、高畑会長の記事を読
み、ナルクの戸を叩きま

した。すぐに近くの拠点
の方が母の元へ足を運ん

でくださり、姉をサポー
トしてくださりました。

具体的な手助けも勿論
ですが、母と姉二人の息

苦しい空気に風を送って
い出を話し合いながら、

ひまわりを大事に育てま
した。真夏の空に、子供の

笑顔のような花がいつぱい
咲きました。お母さんたちは、

そつと、ひまわりと約束しま
した。「もう泣かないか

らね」。約束できない約
束だけれど。絵本の中の

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「釜石」
「福祉フェスティバル」
震災復興支援

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「芦屋」
設立14周年記念懇親会
「高齢者生活支援センタ

「心穏やかに生活して
ください」と祈りつつ、後

見人としての役割を全う
したいと思っております。

認知症や独り暮らしの
お年寄りが増える中、成

年後見人としてのスキル
を持つ者の需要が日増し

に高まっています。釧路
市では「市民後見人推

進事業本部」の設置が計
画されています。僅かな経

験ですが、これらを生か
して活動整備にお役にた

ちたいと思っております。
本部の新聞によります

と、ナルクでも独自の市
民後見人養成講座を開

催し、市民後見人スター
トしているようです。釧路

拠点でも推進しなければ
と思っております。

センターが置かれています。
センターから業務担当

の方が来てくださり、
「高齢者が住み慣れた地

域で、いきいきと尊厳を
持つて暮らしていくため

に、我々はプロとして業
務を遂行している。しか

し制度もサービスも完全
ではなく対応できない事

例は山ほどある。地域の
支援体制づくりが不可欠

で、ナルクの皆さんがそ
の担い手になっていただ

「ナルク(NALC)」は最寄りの活動拠点からお届けします。お問い合わせは電話06-6941-5448(代)ナルクへ。

団体賛助会員

- あいおいニッセイ同和損害保険・大阪ガス労働組合・亀岡病院・関西電力・関西電力労働組合・近畿労働金庫・公益社・サンヨー電機労働組合・CGCグループ・全電通近畿社会福祉事業団・全東レ労働組合連合会・ダイハツ労働組合・東北電力・東北電力労働組合・東北発電工業・日新製鋼労働組合・パナソニック・パナソニックグループ労働組合連合会・パナソニック電工労働組合・丸十服装・妙見閣寺・ユアテックユニオン・U・Iゼンセン同盟・信和ゴルフメンテナンス・労働者福祉中央協議会・四国電力生活協同組合・日通旅行・亀岡松花苑(みずの木)

(5口以上・敬称略)